

様式3

全教科の指導方法課題分析と具体的な授業改善策

教科名 (国語)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く：正確に聞き取り自分の考えをまとめ、メモする力の育成が必要。 ○書く：段落の役割を意識して書く、文の順序と照応等の徹底ができていない。 ○読む：指示語、接続後、段落構成に着目して説明的文章を読む言語活動が不足している。 ○言語：小学校で学習する漢字や語彙の定着。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く：生徒が関心・意欲をもつ資料で「正確に聞きとろう」の単元を実施し力を育む。 ○書く：構成、配置、表現の工夫等養う力を明確にし指導する。 ○読む：接続語で内容予測、指示語の内容や筆者の主張の要約、段落構成の図式化などを行う。 ○言語：漢字の成り立ち、部首字体、筆順の単元や辞書学習で漢字語彙の関心・意欲を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ア. 課題未提出、目標未達成の生徒の個別指導を行う。 イ. 各生徒のレベルに合わせて小学校既習の漢字と漢字検定4.5級程度の漢字学習に取り組ませる。 ウ. 様々な作品に触れるワークブック、読書と「私の一行」、手紙文などの課題をを夏休みに与え、補充的な指導を行う。 エ. 自習ノートを提出させ、復習、苦手分野の反復学習、発展問題への挑戦を促す。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く：プレゼンテーションなどの準備活動が授業内で終わらないことが多い。 ○書く：文章の構成や描写を工夫して書く力、意欲を持たせる指導をする。 ○読む：筆者の論理の展開の仕方、描写の工夫をに対して自分の考えをまとめる活動が不十分である。 ○言語：用言の活用、助詞助動詞等の演習が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く：毎時の言語活動の流れを見直し、より効率的な指導をする。 ○書く：ワークシート等を活用し、生徒全員が根拠や具体例を整理して文章を書ける言語活動をする。 ○読む：クリティカルリーディングや描写に着目した詩の授業を実施する。 ○言語：練習プリントを作成し、文法事項の演習を多く行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ア. 課題未提出、目標未達成の生徒の個別指導を行う。 イ. 各生徒のレベルに合わせて漢字検定4級から2級程度の漢字学習に取り組ませる。 ウ. 様々な作品に触れるワークブック、読書と「私の一行」、手紙文などの課題をを夏休みに与え、補充的な指導を行う。 エ. 中学校で学んだ文法事項の復習プリントで補充的な指導を行う。 オ. 自習ノートを提出させ、復習、苦手分野の反復学習、発展問題への挑戦を促す。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く：授業で身につけた技能を日々の生活で活かす意欲を抱かせていない。 ○書く：根拠や具体例を集め、論理の展開や描写を工夫をした文章を書く力を養う。 ○読む：同種・異種の社会の実際の文章を読み比べ自分の考えをまとめる言語活動が不十分である。 ○言語：関心・意欲を引き出す古文、言語の指導ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話す・聞く：生活で活用できることを実感させ意欲を持たせる。 ○書く：根拠や具体例を集め、文章の組み立てを考えて主張文・批評文等言語活動を行う。 ○読む：同種・異種の文章を読み比べ、自分の考えをまとめ伝えあう言語活動を行う。 ○言語：漢文の押韻を流行歌と比べる、奥のほそ道にならった紀行文作成などの単元を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ア. 課題未提出、目標未達成の生徒の個別指導を行う。 イ. 各生徒のレベルが漢字検定3級に到達するように漢字学習に取り組ませる。 ウ. 文学作品、説明文、随筆、詩、短歌などに触れるワークブックを課題として与え、補充的な指導を行う。 エ. 入試の過去問題に取り組み、受験への意識を高める。 オ. 自習ノートを提出させ、復習、苦手分野の反復学習、発展問題への挑戦を促す。

